

2014.7
第156号

看護かごしま



「加治木町花火大会」豊廣俊治様

平成26年度	
鹿児島県看護協会会員数	
保健師	430人
助産師	342人
看護師	9,616人
准看護師	936人
合計	11,324人

平成26年7月5日現在

※前年同月より 330 人増となっております。

Contents

平成26年度 公益社団法人鹿児島県看護協会通常総会・三職能合同集会報告 …	2
役員名簿・日本看護協会名誉会員・鹿児島県看護協会名誉会員 ……………	3
平成26年度 鹿児島県看護協会会長表彰・日本看護協会会長表彰者 ……………	4
平成26年度 新任・再任役員あいさつ ……………	5
日本看護協会通常総会・職能別交流集会報告 ……………	6
看護の日記念式典・看護業務功労者県知事表彰者・まちの保健室 ……………	7
めざせ認定看護師 ……………	8
副院長の部屋 ……………	10
離島で働く看護師さん(新コーナー) ……………	11
ナースセンターだより ……………	12
教育研修報告 ……………	14
地区だより ……………	15~19
理事会報告 ……………	20

平成 26 年度 公益社団法人 鹿児島県看護協会通常総会報告



平成 26 年 5 月 24 日、公益社団法人鹿児島県看護協会の通常総会が、出席者 488 名、委任状 8,876 名、計 9,364 名のもと開催された。

式典では、物故会員への黙祷の後、平川涼子会長より挨拶があり、公益社団法人 3 年目として組織整備や広報活動の強化・会員増を図り、会員サービスのみならず県民の健康生活向上に貢献していく決意を述べられた。県保健福祉部長松田典久氏、鹿児島県医師会会長池田琢哉氏からは祝辞を頂いた。来賓紹介、祝電披露に引き続き鹿児島県看護協会会長表彰が行われ、20 年以上協会活動並びに保健医療福祉分野で活躍貢献されている 30 名の方に賞状と記念品が授与され、受賞者を代表して福島和子氏（医療法人偕行会大山クリニック）より挨拶が述べられた。

総会では議長団及び議事録署名人の選出後、決議事項の審議に入った。

議題第 1 号「平成 25 年度事業報告」では、常任委員会報告、特別委員会報告、推薦委員会報告、選挙管理委員会報告、研究倫理委員会報告、ワーク・ライフ・バランス推進評価検討委員会報告、助産師出向支援モデル事業協議会報告、日本看護協会理事会報告、九州地区法人会報告が書面でなされた。鹿児島県看護協会理事会報告、鹿児島県看護協会事業報告、職能委員会報告については口頭報告がなされた。議題第 2 号（第一号議案）「平成 25 年度収支決算及び監査報告」が承認された。議題第 3 号（第二号議案）「公益社団法人鹿児島県看護協会名誉会員推薦」では、これまで本会の礎を築いて頂いた徳丸垂水子氏（81 歳）、新納徳子氏（80 歳）の 2 名の推薦が満場一致で採択され、平川会長より名誉会員証の授与と花束の贈呈が行われた。議題第 4 号（第三号議案）「平成 26 年度役員および推薦委員の選出」は、昨年まで実施していた選挙管理委員会による選挙の方法から、

今年度から役員候補者は一人ずつ挙手による承認を諮る方法、推薦委員は一括して承認を諮る方法に改められた。その結果、会長、副会長 1 名、専務理事、助産師職能理事、看護師職能 I 理事、地区理事 4 名、准看護師理事、推薦委員 7 名が選出された。議題第 5 号（第四号議案）「平成 27 年度日本看護協会代議員および予備代議員の選出」では代議員 12 名と予備代議員 12 名が選出された。

報告事項は、議題 6 号「平成 26 年度事業計画」と議題第 7 号「平成 26 年度収支予算」に関して、平成 26 年度重点事業として 6 項目「看護職確保対策の推進」「健康で働き続けられる職場づくり～ワーク・ライフ・バランスの推進」「在宅・介護領域を支える看護機能の強化・充実」「看護の質の向上」「協会活動の情報発信の強化」「会員サービスの強化と会員増」を掲げ、県内 7 地区と連携して取り組む具体的な事業計画が報告された。

最後に、各地区長から推薦を受けた「平成 26 年度選挙管理委員 11 名」が議長による任命を受け平成 27 年度総会当日までの任期が確認された後、閉会となった。

文責：原田ゆう子



三職能合同集会



総会終了後、保健師・助産師・看護師職能合同集会を公益社団法人日本看護協会坂本すが会長をお招きし、「これからの看護を考える」というテーマで御講演していただきました。看護職の未来がより具体的にイメージでき大好評のうちに終了し、名残惜しくお見送りいたしました。

平成 26 年度 公益社団法人 鹿児島県看護協会 役員名簿



役職	氏名	勤務先
会長	平川 涼子	公益社団法人 鹿児島県看護協会
副会長	原田 ゆう子	鹿児島中央看護専門学校2年課程(通信制)看護科
副会長	田畑 千穂子	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
専務理事	原田 ケイ子	公益社団法人 鹿児島県看護協会
常任理事	加治屋 伸子	公益社団法人 鹿児島県看護協会
保健師職能理事	東郷 令子	鹿児島市西部保健センター
助産師職能理事	吉留 厚子	鹿児島大学医学部保健学科
看護師職能理事I	岩下 邦子	公益財団法人 昭和会 今給黎総合病院
看護師職能理事II	富吉 奈美子	鹿児島市立病院
鹿児島地区理事	長田 いつよ	公益社団法人 鹿児島市医師会病院

役職	氏名	勤務先
南薩地区理事	中間 早苗	独立行政法人 国立病院機構 指宿医療センター
川薩地区理事	深川 俊子	公益社団法人 薩摩郡医師会病院
出水地区理事	木山 淳子	公益社団法人 出水郡医師会広域医療センター
始良伊佐地区理事	松枝 文子	霧島市立医師会医療センター
大隅地区理事	前野 かつ子	医療法人 青仁会 池田病院
大島地区理事	仁添 絹子	公益財団法人 慈愛会 奄美病院
准看護師理事	中島 久美子	公益財団法人 慈愛会 谷山病院
監事	財部 マチ子	個人会員
監事	古川 康郎	古川公認会計士事務所

平成 26 年度 日本看護協会名誉会員



日本看護協会通常総会での名誉会員証贈呈式

この度協会員として看護の道を歩み続けたことで、いささかの功が認められ、図らずも名誉会員証受賞の恩恵に浴することが出来嬉し涙でした。この栄誉は偏にこれまでに育て支えて頂いた皆様のお蔭と深謝し、今後も微力ながら協会の発展に寄与する人生でありたいと願望する日々です。(贈呈式での花束も仏前(亡夫)に飾り報告。長年の職務専念への協力に合掌。6月15日父の日)

今井 洋子

平成 26 年度 鹿児島県看護協会 名誉会員



平成 26 年度通常総会において 2 名の名誉会員が承認され、平川会長より名誉会員証の授与と花束が贈呈されました。

徳丸 垂水子 さん
新納 徳子 さん

★写真は新名誉会員を囲んで、日本看護協会坂本会長、名誉会員の皆さまです。



平成26年度 鹿児島県看護協会長表彰者



氏名	所属
有田 裕子	公益社団法人鹿児島共済会南風病院
市村 カツ子	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
岩瀬 和代	医療法人恵明会 整形外科松元病院
恵島 礼子	鹿児島県保健福祉部 保健医療福祉課
江藤 静子	高木耳鼻咽喉科
加治屋 伸子	公益社団法人 鹿児島県看護協会
上村 ひとみ	鹿児島厚生連病院
北方 こより	垂水市立医療センター 垂水中央病院
木原 早苗	大島支庁保健福祉環境部地域保健福祉課
坂元 眞奈美	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
谷口 千穂子	県民健康プラザ鹿屋医療センター
鶴田 美佐子	鹿児島市立病院
徳留 祥子	鹿児島市 東部保健センター
富永 貴三子	医療法人玉昌会 加治木温泉病院
鳥越 るみ子	独立行政法人国立病院機構 南九州病院

氏名	所属
永重 ひとみ	独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター
中島 留利子	鹿児島市立病院
永田 桂子	医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院
西原 洋子	鹿児島地域振興局保健福祉環境部
原田 ゆう子	公益財団法人慈愛会 鹿児島中央看護専門学校
福島 和子	医療法人偕行会 大山クリニック
淵上 淳子	出水総合医療センター高尾野診療所
古川 てるみ	社会福祉法人恩賜財団 済生会川内病院
前野 かつ子	医療法人青仁会 池田病院
牧之瀬 小代子	公益社団法人 曾於医師会立病院
正岡 ゆかり	鹿児島県立大島病院
宮 蘭美恵子	公益社団法人 鹿児島県看護協会
三好 昭子	医療法人仁心会 松下病院
山元 冷子	社会福祉法人向陽会 やまびこ医療福祉センター
吉内 朝子	医療法人杏林会 丸田病院

(所属は平成26年3月末現在)

平成26年度 日本看護協会長表彰者



田中 敏子さん



新田みすづさん

平成 26 年度鹿児島県看護協会新任・再任役員のごあいさつ



会長
平川涼子

日本の医療提供体制が大きく変わろうとしています。会長として 2 期目を迎え身の引き締まる思いです。地区毎にさまざまな課題があり、事業の工夫も必要です。看護職確保対策や WLB の推進、施設・在宅看護の充実、看護の質向上、看護師の役割拡大、会員サービスの向上等、皆様が安心して働けるように、そして、県民の方々の健康生活が守れるように看護協会活動を工夫してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



准看護師理事
中島久美子

准看護師理事として更なる看護技術と知識の向上を目指しつつ、今後のケアに少しでも役に立てていけたらと思ひ、今回理事という大役を引き受けることに致しました。

経験に乏しい自分が上手くやっけていけるか不安に感じながらも微力ではありますが、自分なりに一所懸命活動に取り組んでいきたいと思ひています。また、皆さまのご指導・ご助言を頂きながら自身の成長と看護協会の発展へとつなげていければと考えております。これからも宜しくお願ひいたします。



副会長
田畑千穂子

この度、副会長をお引き受けすることとなりました。

2025 年問題に向け医療・介護制度改正の一括法案が可決され、いよいよ激動の時を迎えます。特定行為に係る看護師の研修制度、病床機能報告制度の創設、医療事故調査の仕組みの構築等、県民の医療・介護のニーズに応えられる最大の専門職集団である看護協会のために、会長を補佐しながら会員の皆様と一緒に頑張っけて参りたいと思ひます。

今期の私の役割として、WLB の推進、がん看護研究会事業、医療・安全対策委員会活動等に取り組みます。どうぞ、宜しくお願ひいたします。



鹿児島地区理事
長田いつよ

この度、鹿児島地区理事として 2 期目をお引き受けすることになりました。1 期目は、“明るく楽しく地区活動”をモットーに、地区の役員・評議員が負担感なく楽しく地区活動ができるように取組んで参りました。2 期目も同様に、“明るく楽しく地区活動、広げようネットワーク”をモットーに、会員の皆様のご支援とご協力を賜りながら地区事業を推進して参りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



専務理事
原田ケイ子

この度、専務理事をお引き受けすることになりました。団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年問題等、在宅医療、地域包括ケアシステムの構築・充実が求められています。このような中、微力ではありますが会長や副会長を補佐しながら会員の皆様、県民の皆様の健康な生活への実現に向けて、関係機関、関係者の方々との連携を図りながら、まずは本年度の重点事業の推進に精一杯取り組んでまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



南薩地区理事
中間 早苗

この度、南薩地区理事に承認されました。南薩地区は 6 市で成っており広域であり過去に公益委員の経験があるだけで協会の役員としてはほとんど経験がない為役割を十分に果たせるか不安です。皆様にご迷惑をおかけすると思ひますが委員の方と連携を取りながら、地域の看護の向上と地区会員の皆様が看護師として安心安全に働けるように地区活動を推進していきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひいたします。



助産師職能理事
吉留 厚子

昨年、全国統一の助産師実践能力習熟段階(クリニカルラダー)が日本看護協会から提示され、昨年度より鹿児島県内に普及させることを目標に活動してきました。助産師のもつべき標準的な実践能力を可視化できたことに大きな意義を感じています。助産師は就職後に目標を持つことが難しいと感じていましたが、より具体的な目標に向かって行動していく指針ができましたので、活用していただきたく願ひしています。今後は、県内の産科施設への普及を促進させ、ラダーⅢの申請ができるように援助していきたいと思ひます。



出水地区理事
木山 淳子

この度、出水地区理事をお引き受けすることになりました。

大役を仰せつかり、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。出水地区の看護職の皆様へ看護協会が目指していること、情報提供や具体的な活動内容をお伝えし、加入促進を図っていきたくと考えております。微力ではありますが、会員の皆様のお力を借りながら、地区活動に取り組んでいきたくと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



看護師職能理事Ⅰ
岩下 邦子

今、社会は少子・超高齢・多死社会にあり、看護職に大きな期待が寄せられています。これから迎える 2025 年問題にどのように立ち向かっていくかという課題もあります。そのような中、看護師職能Ⅰ(病院領域)の理事を務めることになりました。すべての看護職の幸せのために、みなさんが抱える様々な問題の抽出を行い看護師職能Ⅱの委員と協働しながら、活動を進めて参りたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。



大隅地区理事
前野かつ子

この度、大隅地区理事を務めさせていただくことになりました。大隅地区は、医師不足、看護師不足、介護力不足と課題は満積していますが、看護の時代の到来です。「長期療養の生活者」を支えるシステム作りへ貢献し、地域での看護職の存在価値を高めたいと考えています。微力ではありますが、会員の皆様、誇りと責任を持って働けるような会の運営をしたいと思ひていますので、皆様のご指導ご支援をよろしくお願ひいたします。

総会報告



平成 26 年度 日本看護協会通常総会に参加して

医療法人博仁会 宮之城病院（代議員） 上別府 敏子

日本看護協会通常総会が名古屋市日本ガイシスポーツプラザにて6月10日11日に開催されました。全国から代議員・会員など2667名の参加があり、1日目は、坂本会長の挨拶で始まり平成25年度事業報告・決算報告、2日目は平成26年度重点政策・重点事業並びに事業計画、資金収支予算及び収支予算について執行部より説明がありました。看護師の特定行為について国会で審議され採択されることにより今後具体的な検討に入ることでした。また、病院から在宅へというシフトが求められており、今年度の重点事項にも反映されています。

質疑応答では、准看護師問題・看護師の役割拡大の法制化の問題・ワークライフバランスと人員不足・統括保健師について・助産師のクリニカルラダー作成・出向システム等、平成25年度の看護協会の事業実施に対する質問や今年度の期待などが、時間が足りないくらい活発に討議されていました。また名誉会員に本県から今井様が承認され壇上で会員証を授与されるご様子に胸が熱くなる思いでした。また、日本看護協会会長表彰を本県から新田様、田中様が受賞されました。坂本会長が冒頭のあいさつで、どこの国も経験したことのない、急激な高齢化に対し、お手本のない未来の舵取りは責任重大ですとの言葉に身が引き締まる思いがしました。人々と看護職の安心・安全のために心をつなげて取り組んでいかなければいけないと痛感しました。このような機会を頂き感謝しています。

平成 26 年度 全国保健師交流集会に参加して



保健師職能委員長 東郷 令子

6月12日全国から保健師が集う交流集会に参加し、中板職能委員長から、26年度重点事業の取り組みとして、統括保健師の配置推進、系統的現任教育体制構築、「保健師の活動基盤調査」の実施及び政策提言、地域包括ケア体制の構築推進に向けた研修プログラムの提案などがありました。

また、「健康格差に向き合うー期待される公衆衛生看護の力ー」と題して、千葉大学予防医学センター近藤克則教授による特別講演が催され、一次予防強化・健康な町づくりへの方向転換が示されました。シンポジウムは、「指針で変わる！指針で変える！私の保健師活動！」をテーマとして、保健師活動指針をもとに、工夫を凝らして取り組んでいる市町村・保健所・統括保健師をはじめ、各立場からの活動報告がなされました。

交流集会に参加して、看護協会活動が、国の政策に大きく影響を与え、保健師活動を支えていることを再確認しました。「保健師活動指針活用ガイド」は、大きく変革する今、保健師が、自信を持ち、どのような変化にも臆せず対応できるように作成されました。今後、保健師の活動体制と機能を高めるためにガイドを活用推進していきましょう。

平成 26 年度 全国看護師交流集会Ⅰ(病院領域)に参加して



看護師職能委員長 有村 芳彰

平成26年6月12日看護師交流集会Ⅰ(病院領域)が開催されました。平成25年度の活動報告では、1)「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」は7割以上の施設にて「活用し前向き」との反応あり2)「急性期病院における看護補助者の活用」では有資格者の扱いに関する課題が新しく抽出され成果

の報告がありました。平成26年度の活動方針では、在宅療養支援の取組みへの普及・課題発見、変化する医療提供体制に応じた看護師の多様なキャリア支援との事です。

2025年問題に向けて、平成26年度日本看護協会の重点事業にも挙げられている1)長期療養の生活者を支える訪問看護等の機能強化や平成26年度の診療報酬改定でもあるように在宅(訪問看護)と病院の連携が重要になっています。我々看護師職能Ⅰでは看護師職能Ⅱとの連携を図り病院完結型医療から地域完結型医療への取組みを強化していかなければならないと思います。

平成 26 年度 全国助産師交流集会に参加して



助産師職能委員 片平 久美子

6月12日に全国助産師交流集会が開催され、全国から約350人の助産師が参加しました。福井理事より平成26年度重点政策・重点事業「助産実践能力の強化とその体制整備」について説明があり、特に今年度の活動目標は「助産師のキャリア/パス助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の普及・啓発に関

する意見集約、課題発表」であると示されました。ALL JAPANで助産師の実践能力を推進していくために、現場に即した「クリニカルラダー運用の解説書(案)」の作成や、平成27年8月から日本助産師評価機構が中心になり、全国統一の標準化したクリニカルラダー「レベルⅢ」(自立して助産業務ができる助産師)の認証を行うことについて説明がありました。産科医療施設の減少や産科混合病棟の増加、助産師の偏在などの課題解決のために、クリニカルラダーによる助産ケアの質の均等化や助産実践能力を可視化することで、助産実践能力の向上や出向システムなど助産師の有効活用が可能になると感じました。今年度はさらなるクリニカルラダー普及にむけて、より具体的に取り組んでいきたいと思っています。

また、「子育てと家族を支える原点をみつめる」というテーマで特別講演がありました。家族を形成する最も初期にかかわる職業である「助産師」として、自分の役割は何なのか原点に戻って考える機会になりました。

平成26年度 全国看護師交流集会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域)に参加して



看護師職能委員長 富吉 奈美子

6月12日全国看護師交流集会Ⅱが開催され、平成26年度重点政策・重点事業および活動方針が説明されました。重点事業として、「長期療養の生活者を支える訪問看護等の機能強化」を掲げ、実施内容として1.訪問看護・介護領域における看護人材の確保・育成 2.

訪問看護・介護領域におけるマネジメント強化と看護の質の向上 3.訪問看護の大規模化・多機能化の推進 4.地域の訪問看護・介護施設等のネットワーク強化、について詳しく説明がありました。その後「認知症の人の暮らしと人生を支える介護」についてノンフィクション・ライター中澤まゆみさんの特別講演があり、友人が認知症となり、「友人の介護が飛び込んできた」認知症のあゆみについて講演されました。次に「認知症の人の理解と課題」と題し、若年性認知症である患者が当事者としての現状や、認知症への取り組みについて講演されました。更に「今後の認知症施策の方向性について」の講演や認知症サポート養成講座(人形劇)がありました。

認知症患者は470万人、予備軍も400万人の時代です、地域でどのように認知症の人を支えていくか、大きな課題です。「医療と介護の連携」「地域全体で認知症を支える」等、看護師職能委員会Ⅱの果たす役割が重大であることを実感しました。

平成 26 年度『看護の日』記念式典



本年度は5月12日(月)に鹿児島県医師会館で開催されました。あいにくの雨日よりでしたが、看護学生を中心に300人以上の参加があり、2階会場まで使用する盛況ぶりでした。式典に先立ち鹿児島県出身のピアニスト『満田昭人』さんによるミニコンサートが開かれ、ユーモアあふれるトークと楽しい演奏の時間になりました。

式典では長年にわたり看護業務に従事された10名の方々に『看護業務功労者県知事表彰』が授与され、被表彰者を代表して前畠愛さんが『生涯を貫く仕事を持てたことに感謝したい』とあいさつされました。その後、元鹿児島県職員の保健師『合田マリ子』さんの『東日本大震災の被災地における活動報告』の講演が行われ、看護職の頑張り拍手するとともに今後の役割を認識する機会となりました。



看護業務功労者県知事表彰者



岩 重 清 美 (霧島市)
 木 下 サチ子 (鹿児島市)
 笹 川 美 子 (西之表市)
 白 石 和 美 (鹿児島市)
 藪 田 舞利子 (鹿児島市)
 竹 脇 恵 子 (鹿児島市)
 堤 峯 子 (鹿児島市)
 橋 野 展 子 (中種子町)
 前 畠 愛 (鹿児島市)
 山 下 洋 子 (薩摩川内市)



まちの保健室



本年度は5月17日(土)にダイエー鹿児島店で実施しました。初めての会場であり、心配しておりましたが、たくさんの方々にご来場いただき例年と変わらぬ賑わいぶりでした。「この日を待っていたので、すべてのブースを体験する」と嬉しい言葉もいただきました。また、健診などでの計測結果を持って健康相談を受けるといふ人や家族の喫煙に悩んでいる妊婦さん等、相談ブースも大活躍でした。

かわいいプチナース体験やバルンアートに誘われて、若い世代もたくさん来場してくれました。

めざせ! 認定看護師



〈第155号 看護かごしま お詫びと訂正〉

前回4月号の認定看護師コーナーのタイトルと氏名に「アドバンス・ケア・プランニング認定 乳がん看護認定看護師 戸田利香さん」と紹介しましたが、正しくは「認定看護師の活動内容、やりがいについて 乳がん看護認定看護師 戸畑利香さん」でした。お詫びと訂正をいたします。

認定看護師紹介

臨床現場のエキスパートとして



公益社団法人 鹿児島共済会 南風病院
看護部 ICU 主任
集中ケア認定看護師
下笠 久美子

看護師は交代で患者様のケアにあたっています。いくら自己研鑽に励み、自分一人が良いケアができるようになって、良い看護ができたとは言えない所があります。経験年数を重ねるにつれ、後輩を育てることが求められるようになり、それまで培った経験や知識を人に伝えることの難しさを実感しました。そこで、根拠をもって人に看護を伝える能力を身につけようと考えたのが認定看護師を目指したきっかけでした。

現在、ICUで主任の役割を遂行しつつ、集中ケア認定看護師として勤務しています。週に1回、活動日をいただいておりますが、それ以外はICUのスタッフとして日常業務を行っています。日常業務といっても、私にとって、ICUでの業務は専門領域の実践の場です。重症患者様の状態をアセスメントしながら、その時の患者に適したケアはなにか、スタッフと共にディスカッションしながらケアを行っています。また、呼吸ケアサポートチームを立ち上げ、病棟ラウンドを通して院内の呼吸ケアの知識・技術の向上やリスクマネジメントを目標に活動を行っています。

臨床現場のエキスパートとして、スタッフから相談を受けることも多くあります。そのような時に、相手の経験年数や状況を考え、相手の立場にたって考え、アドバイスすることを心がけています。自分の言いたいことを相手に理解してもらうためには、根拠を持って説明し、それを工夫しながら伝えることが必要です。資格取得後は、自部署だけでなく病院全体へと活動の範囲が広がります。関わる人が増えるほど、相手に合わせて物事を伝える力が必要であると感じています。

認定看護師の認定を受けてから、早くも2年が経過しました。まだまだ目に見える実績はありませんが、少しずつ変化も感じています。例えば、現場で質問を受ける回数が増えたことや自部署だけでなく、他部署からの相談を受けることが多くなっていることです。スタッフと共に考え、問題が解決できたときには、認定看護師としてやりがいを感じています。

今後の目標は、重症患者の看護を実践しながら、看護が楽しいと感じられる看護師を一人でも多く育成することです。看護は、奥が深く、一生自己研鑽が必要な仕事です。また、正解が一つではないものです。スタッフの個性を活かしながら、それぞれが看護に夢中になれる環境を作り、看護チーム全体でよりよい看護とは何かを探求し、楽しく看護を実践していきたいと考えています。



認定看護師紹介

「認定看護師の活動内容、やりがい」について



公益社団法人 鹿児島共済会 南風病院
看護部 緩和ケア病棟 主任
緩和ケア認定看護師
真上 美千子

現在緩和ケア病棟に所属しながら、緩和ケアチーム専従看護師として、緩和ケア外来を担当する傍ら、一般病棟と緩和ケア病棟に入院中の、緩和ケアを必要とされる患者様やご家族と関わらせていただいています。日々、健康な自分に、患者様やご家族の本当の苦しみが理解できるのか？と自問自答しながらも大切にしているのは「(患者・家族と)共に揺れ、共に頑張る」という思いを伝える事です。人としても、看護師としても未熟ではありますが、患者様やご家族の様々な選択をサポートしていきたいと考えています。



こんな私が認定の資格を取得するきっかけとなったのは「両親を自宅で看とるための知識と技術を得たい」という理由で看護師を目指し、叔父や叔母を癌で亡くした経緯からでした。南風病院に入職時より全科対応個室病棟に勤務した事で、告知の段階から終末期まで患者様に関わり、さらに緩和ケアを学びたいという思いが強くなりました。そして先んじて緩和ケア認定看護師の資格を取得し、活躍している先輩との出会い、親友の癌罹患による闘病を垣間見た事がきっかけで、病院のサポートもあり、資格取得に至りました。

認定資格取得後心がけている事は、緩和ケアに関する教育や指導を、同僚の看護師達に行う事で緩和ケアを啓蒙する事、患者様やご家族に具体的で個別な緩和ケアを実践していく事であるとと考えています。そして私は認定看護師である前に、一人の看護師として、看護師である前に人としてどうあるべきかを考えることは忘れないように心がけています。

現在南風病院に在職している事で、WHO(世界保健機構)が提唱している「早期からの緩和ケア」を、告知の段階から終末期まで、同じ病院で実践できる事は認定看護師として幸運だと思っています。急性期病院の中に緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、訪問看護ステーションがあり、各診療科の医師とも常に相談しあえる信頼関係や、各病棟の緩和ケアを担う看護師が中心となり、一般病棟と緩和ケア病棟、在宅をつなぐことができます。

平成 25 年 5 月に緩和ケア病棟が開棟した事で、治療されている患者さんの療養場所の選択が広がりました。しかし、闘病しながらも在宅で過ごしたいと考えられる患者さんの希望を叶えるには、まだまだ十分とは言えません。患者さんが望む場所で、望む医療と看護が提供できるように、今後は、少しずつでも訪問看護等の在宅看護にも携わっていきたく考えています。

副院長 の部屋

Vol.2



社会医療法人博愛会
相良病院
理事長補佐・総看護部長

江口 恵子

看護師として 43 年余の年月を重ねてきた。この間、多くの患者さんやご家族との出会いがあった。看護師として何ができたのか、どうすれば良かったのか、自問自答しながらの歳月が瞬間に過ぎてきたように思う。この間、看護師・看護教員・看護師長・教育主事・教育責任者としての副看護部長を経て看護部長を 8 年経験した時、長い間の縁が太い糸になって緩和ケア病棟を併設している乳がんの専門病院の博愛会に勤務することになった。神様からの大きなプレゼントを得たと感謝している。

私が看護職を続けてきた根源にあるものは、5 人の子どもたちに女性も生涯の仕事を得て働き続けられる方向を示し行く道を支援してくれた母の死がある。50 歳で胃がんで逝った母の診断から看取りまでの 10 か月の関わりは、卒後 4 年目の看護師としての私の行く道を指し示してくれた。本人への告知もされない時代の中で病状も予後も悟り、死の準備・死後の営みの指示・父への惜別の苦悩・希望等々、鹿児島と実家の熊本とを往復しながら在宅で看取った 2 か月の母の語りは、看護師としての私への宿題であり宝である。そのようなことから自然にがん看護や緩和ケアに携るようになり、看護師長時代に関わった頭頸部のがん患者さんにも多くの学びを得た。“人がどのように生き、ど

のように死んでいくのか”、看護はその一人一人のいのちの営みに関わる仕事である。それは紛れもなく、その人固有のいのちである。患者さんのいのちや生活の視点から診療・ケアをマネジメントしていくことが看護管理者には求められていると考える。

理事長補佐を拝命したとき、私に何が求められているのかと自問自答しながら考えたことは、社会医療法人としての博愛会が目指すもの、それをトップリーダーとして推進していく理事長の见えないものを見てサポートすることだと肝に銘じた。法人の目指すもの“共にあり、共に歩む”を実践していく多職種の日常の活動に目配り気配りをしながら、職員が誇りと自覚を持って働き続けられるような職場づくりができるようにエンパワメントできることだと考えた。それをどこで見えていくのか、それは、“患者さんにどのような診療・ケアが行われているか”にあると私は考えている。併せて良質な経営管理が行われるように推進していくことは当然のことと受け止めている。

役割を得て 4 年目を迎える今日、医師はもちろんのこと、検診や診療に関わる全ての専門職、事業を推進する事務系職員の“乳がん専門病院としての誇りと責任を如何に果たすか”という熱気が一つにつながっているのを実感している。

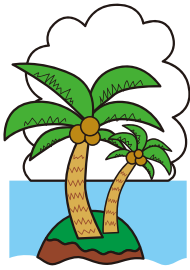
自分の立ち位置はどこにあるのか、それは、まぎれもなく看護師としての自分である。

看護師としての集大成をこのような環境で実践できることに心から感謝する日々である。

次回は

医療法人 青雲会
青雲会病院

の副院長です。



新コーナー 離島で働く 看護師さん!

離島で働く看護師さんの活動を紹介します



医師の居ない島で常駐看護師として働く

池地診療所 看護師
請畑 美由紀

池地診療所は大島本島から海上で 23km 離れた外海に面した請島にあります。平成 26 年 3 月末現在 2 集落、世帯数 64 戸人口 113 人 65 歳以上の割合は 70%を占めます。

池地診療所は昭和 37 年に開設され、常駐医師はなく月 2 回の巡回診療を行っています。当地域は、冬場の悪天候や夏場の台風接近時には交通が遮断され、急な疾病の発生には住民にとって多大な不安となっており、本島の診療所からその都度看護師が派遣されていました。平成 12 年度から、看護師が常駐することになり、当時の私は鹿児島市内に勤務しておりましたが、生まれ育った島で地域貢献したいとの思いが強くなり平成 15 年 7 月より池地診療所で勤務させて頂いております。

月 2 回の巡回診療では、医師の診察や往診、定期内服の処方や採血、必要に応じポータル心電図や超音波検査を行います。必要があれば、胃カメラや大腸カメラ造影 CT などの検査を僻地診療所へ予約を入れます。巡回診療以外の日は訪問看護を行い、日常生活において困っている事はないか、体調に変化がないかバイタルサインのチェックや服薬状況の確認などの情報収集を行っています。

請島には 2 集落あり、バスやタクシーなどの公共交通機関はありません。日中、夜間を問わず具合の悪い患者様からの呼び出しには在宅訪問を行い、へきち診療所へ状態報告し医師の指示を仰ぎます。昨年の夏は例年になく熱中症の患者様が多く発生し、独居女性高齢者が自宅で倒れていました。直ちに救急搬送し後日無事退院しました。

救急時の搬送要請から、2 次医療機関到着まで海を隔て救急艇での搬送なので、天候に影響され 1 時間以上かかります。年間 10 件前後の搬送があります。その 1 例として 80 代女性、溺水にて心肺停止状態で発見され、地域住民と協力し AED 使用、無我夢中の人工呼吸と心臓マッサージに足がすくみ恐怖を感じました。この患者様は家庭復帰され現在も元気に請島で暮らしております。

地域住民と BLS の訓練を行って間もない頃でしたので、訓練が役にたったと感じた症例です。

島には、独居高齢者が 21 戸、夫婦のみの高齢者世帯は 18 戸あり、認知症の患者様、半身不随で寝たきりの患者様、末期がんの患者様もいます。皆さん、この請島で出来る限り過ごしたいとの思いがあります。離島であるために限られた介護サービスしか受けられずやむを得ず施設への入所を余儀なくされる方もいます。常駐看護師として出来ることは何かあるか常に考え患者様の思いに寄り添い、地域住民の不安の解消に努め、へきち診療所や地域包括支援センター、そして集落の区長さんや民生員へ相談しながら、地域の方に役に立てるようこれからも頑張っていきたいと思っております。



ナースセンターだより

看護職のための 再就業支援セミナー Vol.109

★ 技術支援セミナー（鹿児島市）が 始まりました ★

採血・注射の看護技術を習得し、容易に職場復帰できることを支援します！
鹿児島大学病院看護部の協力を得て、5月23日から開始されました。第1回目は、ブランク13年～18年の方が4名参加されました。最初は慣れない手技のため緊張していましたが、次第に流れがつかめ、最後は皆さんスムーズに実施出来ていました。

【技術支援セミナーについて】

開催時期： 毎月第4金曜日
開催場所： 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
総合研修シミュレーションセンター

申込方法： 各月の1日～10日まで
ナースセンターに電話でお申し込みください。

※応募多数の場合、該当月に参加できない場合がありますのでご了承ください。



★ 再就業支援セミナー（川薩地区・熊毛地区） ★

ブランクがあり再就業に不安をお持ちの看護職の方が、無理なく復職していただけるよう、セミナーを開催します！

実施主体： 鹿児島県（看護協会受託事業）
受講資格： 未就業、または再就業1年未満の保健師・助産師・看護師・准看護師
申込方法： ナースセンターに電話・メール・来所にてお申し込み下さい。
（申込書は、鹿児島県看護協会ホームページに8月初旬にアップします。）
会場： 川薩地区（川薩地区の医療機関）
熊毛地区（種子島の島内医療機関）
受付期間： 平成26年8月18日（月）～9月5日（金）
受講料： 無 料（ただし、諸経費として2,000円、初日受付時に徴収します。別途、障害保険・賠償責任保険料を徴収。 ※金額未定）

=プログラム=

看護技術・救急時のケア・
医療事故防止の取り組み・実務研修
院内感染防止ほか

<託児について>



元気いっぱい遊ぶ
子どもたち！！

※託児を利用希望の方は、
事前に申し込みが必要です。

★ 助産師再就業支援セミナー（鹿児島市） ★

最新のマタニティケアを再確認し、ローリスク、ハイリスクの判別及び初期介入に必要な知識・技術・態度を身につけ、職場復帰を容易にします！

実施主体： 鹿児島県（看護協会受託事業）
受講資格： 現在就業していない助産師資格を持つ者
申込方法： ナースセンターに電話・メール・来所にてお申し込み下さい。
（申込書は、鹿児島県看護協会ホームページに8月末にアップします。）
会場： 鹿児島県看護研修会館2階視聴覚室
受付期間： 平成26年9月8日（月）～30日（金）
受講料： 無 料（ただし、諸経費として2,000円、初日受付時に徴収します。別途、障害保険・賠償責任保険料を徴収いたします。 ※金額未定）

看護学校訪問！

今年度も、昨年度に引き続き県内の看護学校を訪問しています。ナースセンターの紹介や、卒業後の学生が看護職として働き続けられるための相談事業窓口など、学生や教員に対してお話をしています。今年度は16校から申込みがあり、5月と6月で6校の訪問が行われました。

これからもナースセンターは、求職中や就業中の看護職の方々の他、看護職を目指している学生や学生を支援する教職員など、幅広い皆さんに御活用いただけるよう、取り組みたいと思います。



看護職のWLB推進ワークショップ

本年度は、青仁会 池田病院、総合病院鹿児島生協病院、玉水会病院の3施設が加わり、併せて12の施設が取り組んでいます。

8月11日(月)・12日(火)にワークショップを行います。午前中の講義は、公開講座になりますので、多くの施設の方々の参加をお待ちしております。



ハローワークでの就業相談

平成25年度から、ハローワークでナースセンターによるお仕事相談を行っています。看護職のナースセンター相談員が丁寧に対応いたしますので、ぜひ御活用ください。

＜相談日＞

毎月第4木曜日

時間：13:30～15:30

場所：鹿児島公共職業安定所(ハローワーク)
(鹿児島市下荒田1-43-28)

★これまでの相談内容★

- ・仕事と家庭の両立が難しい。自分に合った働き方を探している。
 - ・これから進学を考えているので資格取得のための情報が欲しい。
 - ・看護職での復職をしたいが、プランクがあるので心配。どんな職場を選べばよいのか、迷っている。等
- ※事前のお申し込みは不要です。

鹿児島県ナースセンターが新聞に登場！！

6月15日付の南日本新聞に、看護職求人特集としてWLB推進ワークショップと鹿児島県ナースセンター事業についての記事が掲載されました。



▲平成26年6月15日付南日本新聞より
看護職の様々なサポートに取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします！

求人の皆様へ (ナースセンター相談員より)

ナースセンターでは、様々な看護職求人を受け付けています。

医療機関や訪問看護ステーション、デイサービスやその他の福祉施設等の他に、健康診断やイベント救護などの雇用についても求人登録が出来ます。

常勤求人その他、期間の定めのある非常勤求人や単発的な求人の登録も可能です。

多様な働き方を希望する経験のある看護職が登録しています。看護職求人でお困りの際は、ぜひ御相談下さい。

鹿児島県ナースセンター

[看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002]

◆窓口・お電話でのご相談◆

相談日：月～金 午前9:00～12:00
午後1:00～4:00

住所：〒890-0064
鹿児島市鴨池新町21-5

T E L : 099-256-8025

F A X : 099-256-8079

E-mail : kagoshima@nurse-center.net

ネットで求人・求職！ e-ナースセンター
<http://www.nurse-center.net>

鹿児島県の求人・求職登録状況(3月～5月分)

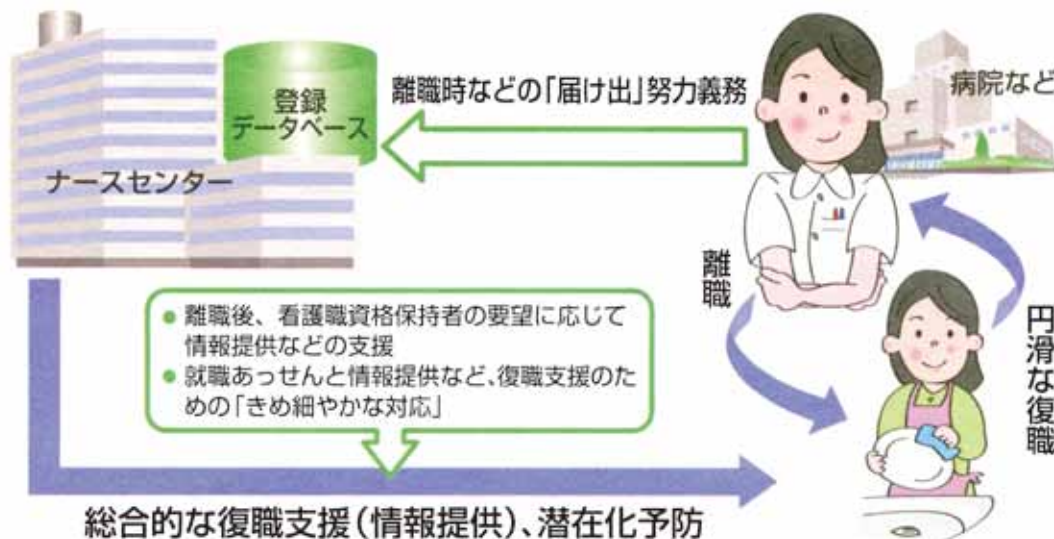
(人)

	有効求人数					有効求職者数					就職者数				
	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計
3月	19	3	418	22	462	9	10	118	16	153	1	0	20	1	22
4月	20	6	420	24	470	8	12	127	21	168	1	1	20	0	22
5月	15	5	435	21	476	9	10	119	19	157	0	0	33	1	34

ナースセンターへの届け出 制度化へ



～届け出の努力義務化で、再就業を後押し～



これまでは、看護の仕事から離れると、必要な情報を受け取る方法がなくなり、もう一度看護職を目指したいと思っても、適切に情報を得ることが難しい状況でした。今回の届け出制度を活用することで、離職後もナースセンターとの一定の“つながり”を確保することができ、メールによる情報提供などによって、復職に向けたきめ細かなサービスが受けやすくなります。

届け出制度は2015年10月に創設。

創設後は、スマートフォンやパソコンのナースセンターサイトを通じ、情報をナースセンターに送信できる仕組みが整備されます。

教育研修報告



eラーニングを導入した医療安全管理者養成研修がスタートしました。

いつでもどこでも自分の時間に合わせて何度でも学習できる「eラーニング」と「集合研修」での演習や情報交換等により、医療安全を推進できる医療安全管理者をめざして、108名の方が受講しておられます。

県内各地の病院、診療所、訪問看護ステーション等に勤務する看護職の他、医療安全にかかわる他職種の方々が7月1日から11月30日まで学習されることになりました。

11月26日には鹿児島県看護研修会館で集合研修があり、eラーニングの課題を期間内に修了し合格点に達した方に修了証が交付されることになっております。

受講者の皆様は、余裕をもって受講し、課題をクリアできるよう早めに学習を開始してください。11月26日に研修会館でお会いしましょう。

地区だより

※本号より各地区の連絡事項、お知らせ等「看護かごしま」紙面でお知らせすることになりました。

鹿児島地区



鹿児島地区地区長
長田いつよ

この度、鹿児島地区長として2期目をお引き受けすることになりました。

平成26年度は、昨年度より150名増の会員数5,700名を目標に掲げ、ピーアールや各施設との連携を図りながら会員増に取組みたいと思います。また、地区事業として、感染対策や褥瘡ケアの研修、新人看護職員合同研修会を新規に開催することになりました。加えて、各施設の医療

安全管理者のネットワークづくりと支援・相談体制を充実させるため、鹿児島地区医療安全情報ネットワーク会議を年4回開催いたします。

1期目同様に、“明るく、楽しく地区活動、広げようネットワーク”をモットーに、役員・評議員が元気に地区活動を行い、職場を越えたネットワークづくりができるよう取組んで参ります。会員の皆様のご参加・ご協力をよろしく願います。

■平成26年度 役員

役員	氏名	所属
地区長	長田 いつよ	鹿児島市医師会病院
副地区長	尾方 智恵子	公益法人慈愛会 今村病院分院
副地区長	八田 明美	鹿児島赤十字病院
書記	養田 尚美	鹿児島医療センター
会計	後迫 章子	鹿児島厚生連病院
屋久島ブロック長	囃師 れい子	屋久島保健所
種子島ブロック長	小山 田 恵	田上病院
種子島会計	松田 優子	西之表保健所
教育委員長	宮田 径代	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
地域ケアサービス委員長	高田 真実	今村病院分院
出版規約委員長	横山 美枝子	鹿児島市医師会病院

教育委員	
氏名	所属
尾辻 さおり	鹿児島厚生連病院
水野 恵美子	相良病院
新屋敷 由美子	日高病院
要 とし子(協)	大勝病院
花菌 昌子(協)	上山病院

地域ケアサービス委員	
氏名	所属
中 堀 恵	鹿児島市医師会病院
東 育 代	のぼり病院
瀬 下 久美	鹿児島生協病院
切 通 めぐみ	南風病院
黒 瀬 加奈子	三愛病院
池 田 絹代	三州脇田丘病院
朝沼 亜由美(協)	高田病院
磯部 妙子(協)	鹿児島西部保健センター
向井 理恵(協)	三宅病院

推薦委員	
氏名	所属
中西 和子	鯨島病院
植之原 博美	済生会 鹿児島病院
有村 いづみ	岩尾病院

出版規約委員	
氏名	所属
富安 恵子	鹿児島医療技術専門学校
鳥井口 三恵子	谷山病院
吉松 昌代	パールランド病院

南薩地区



南薩地区地区長
中間 早苗

1、地区長就任の挨拶

梅雨の折から会員の皆様方におかれましては益々ご健勝でご活躍のことと存じます。

さて私、6月に地区長に就任したばかりで勉強不足でわからないことが多くその責任の重大さを感じております。地区役員の方々からご指導ご協力をいただきながら活動していきたいと考えております。

南薩地区では平成25年度の課題として1)南薩地区の組織の強化とネットワーク作り 2)会員増加の具体的な数値目標として平成27年度までに100名増を目指すために施設間の連携と訪問活動 3)県協会との連携を図り、研修会の充実を図ることで質の向上を目指すことをあげております。この課題が達成できるように本年度も地区活動のさらなる充実を目指しております。

どうぞ、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

2、平成26年度地区集会報告

6月21日、地区通常総会が加治屋常任理事来賓のもと開催されました。あいにくの雨で足元の悪い中地区会員の方が出席して下さいました。日本看護通常総会参加者の報告と、平成26年度事業計画・予算報告について、報告承認されました。

地区集会後、「リフレクソロジー」～看護に活かせる足裏マッサージ～NPO法人RTAスクールPeace 蒲地綾子先生の指導のもと実技研修会が実施されました。遠方から参加している会員の方も足裏マッサージをお互いに施術し仕事の疲れがとれてお互いの交流にも繋がり意義のある時間を過ごす事ができました。

■平成26年度 役員

役員	氏名	所属
地区長	中間 早苗	国立病院機構 指宿医療センター
第1副地区長	岩田 真紀子	県立薩南病院
第2副地区長	服部 郁代	医療法人あさひ会 金子病院
書記	岩川 深雪	山川病院
会計	黒岩 久美	指宿竹元病院
評議員	福満 順子	医療法人あさひ会 金子病院
評議員	中村 昭子	県立薩南病院
評議員兼教育委員長	鮫島 麗子	南九州さくら病院
評議員兼公益委員長	曾木 茜	指宿保健所

<地区ローテーション>

平成18、19年度 伊集院ブロック
平成20、21年度 指宿ブロック
平成22、23年度 加世田ブロック
平成24、25年度 伊集院ブロック
平成26、27年度 指宿ブロック
平成28、29年度 加世田ブロック
平成30、31年度 伊集院ブロック
平成32、33年度 指宿ブロック
平成34、35年度 加世田ブロック
平成36、37年度 伊集院ブロック
平成38、39年度 指宿ブロック
平成40、41年度 加世田ブロック

- *第1副地区長は次期担当地区から選出する。
- *地区長・書記・会計は地区長のブロックから選出する。
- *第2副地区長は、地区長・第1副地区長以外の地区から選出する。
- ※役員施設は交代する。(各ブロックで担当時連続して施設が行わない)

教育委員		
氏名	所属	所属
鮫島 麗子	南九州さくら病院	
田中 誠	いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター	
福留 マサ子	さつま訪問看護ステーション	
諏訪園 睦子	菊野病院	
吉内 朝子	医療法人杏林会 丸田病院	
富松 さとみ	山川病院	
茶屋 聡子	小原病院	

公益委員		
氏名	所属	所属
曾木 茜	指宿保健所	
有村 高	博悠会温泉病院	
田淵 晴美	枕崎市立病院	
瀬戸 純子	南さつま市役所	
内 美千代	国立病院機構 指宿医療センター	
木原 好子	ゆのもと記念病院	
牧瀬 裕美	日置市役所	

川薩地区



川薩地区地区長
深川 俊子

平成 26 年度地区集会を終えて、1 年間の活動を振り返り次年度の課題を考える良い機会となりました。「組織の強化・円滑な運営」では、川薩地区の会員数は 674 名（3 月末）であり、一年間で 1.3%の増加となりましたが、県下でも入会率の低い地区です。地区独自の新人看護師出前研修や潜在看護師再就業支援事業、看護管理職研修などの活動を継続しながら顔の見える組織作りをし、保健師・助産師・看護職が安心して働ける地区環境を提供していきたいと考えております。「地区会員の資質の向上」では計画的に教育研修

を実施し、看護の専門性を高められることを期待しています。「地域ケアサービス事業」では、まちの保健室開催や地域イベントに参加して住民との交流や健康に関する知識の啓発に寄与していきたいと思っております。

又、在宅医療が推進される中、地区におきましても行政・医療機関・介護施設・訪問看護ステーションの 4 職能が連携して医療・介護の質の向上に貢献していきたいと考えております。

今後とも引き続き、会員の皆様のご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

■平成 26 年度 役員

役 員	氏 名	所 属
地 区 長	深 川 俊 子	薩摩郡医師会病院
副 地 区 長	長 井 砂 都 美	川内医師会立市民病院
〃	湯 之 前 瑞 穂	済生会訪問看護ステーションせんだい
書 記	和 泉 智 子	薩摩郡医師会病院
会 計	水 流 佳 世 子	済生会川内病院
評 議 員	上 別 府 敏 子	宮之城病院
〃	谷 川 智 子	クオラリハビリテーション病院
〃	下 舞 佳 美	済生会川内病院
〃	比 良 美 智 子	市比野記念病院
教 育 委 員 長	下 舞 佳 美	済生会川内病院
教 育 委 員	橋 口 久 代	クオラリハビリテーション病院
〃	別 府 晴 美	川内医師会立市民病院
〃	後 藤 千 草	薩摩郡医師会病院
〃	永 濱 佳 織	鹿児島純心大学
〃	石 原 邦 江	川内看護専門学校高等課程
地 域 ケ ア サ ー ビ ス 委 員 長	比 良 美 智 子	市比野記念病院
地 域 ケ ア サ ー ビ ス 委 員	杉 田 由 紀	済生会川内病院
〃	杉 安 さ つ き	森園病院
〃	満 園 百 恵	川内医師会立市民病院
〃	住 吉 真 希	北薩地域振興局 保健福祉環境部（川薩保健所）
〃	久 保 田 祥 子	薩摩郡医師会病院

出水地区



出水地区地区長 木山 淳子

この度、出水地区において地区長をお引き受けすることになりました。鹿児島県看護協会の地区理事として携わることの責任の重みを痛感しております。会員皆様のご指導、ご支援のもと、微力ではございますが力を尽くしてまいりたいと考えております。

先日、全国代議員として日本看護協会平成 26 年度通常総会に参加させていただきました。看護職が働く現場には多くの課題があり、解決に向けて積極的に日看協が取り組んでいる状況を目の当たりにし、学習不足と認識不足を反省しました。坂本会長が「お手本のない未来の舵取りは、責任重大」と言われました。超高齢社会に向けて、病院中心の医療から地域ぐるみの医療・介護へと転換が求められます。地域全体に目を向け、より多様な場で活躍する看護職に期待がかかっています。

このような状況を踏まえて、地域の方々とのふれあいはじめとした協会の種々の事業・活動をより積極的に進めることで、住民の方々が安心して生活できる社会づくりに貢献できればと思っております。また、地域の看護職が働き続けられる環境整備にも尽力していきたいと考えております。

皆さんの力の輪を結集することで、出水地区における看護協会の活動をさらに活性化できるものと信じております。出水地区の看護協会の魅力づくりと加入促進に全力を尽くす所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

■平成 26 年度 役員

役員	氏名	所属
地区長	木山 淳子	出水郡医師会広域医療センター
第一副地区長	本蔵 信子	出水総合医療センター
第二副地区長	小船井 千裕	内山病院
書記	野添 伊知雄	出水郡医師会広域医療センター
会計	吉井 久美子	出水総合医療センター

平成 26 年度全国代議員

木山 淳子	出水郡医師会広域医療センター
小船井 千裕(予備)	内山病院

地域ケアサービス委員 6名		
氏名	所	属
浦名 裕樹(委員長)	出水総合医療センター	
小幡 純子	出水総合医療センター	○
小村 小百合	出水郡医師会広域医療センター	
瀬ノ口 恵子	長島町役場	○
中島 夏美	北薩地域振興局保健福祉	○
中原 喜代子	出水総合医療センター高尾野診療所	○

教育委員 6名

氏名	所	属
松本 勇樹(委員長)	出水郡医師会立第2病院	
園 畠 妃登美	出水総合医療センター	○
岩崎 真理	出水郡医師会広域医療センター	○
福浦 のぞみ	荘記念病院	
福永 真由美	介護老人保健施設 回生苑	○
瀬戸口 理絵	県立野田女子高等学校	○

○新役員

始良・伊佐地区



始良・伊佐地区地区長 松枝 文子

平成 25 年 6 月に地区長を引き受けて 1 年がたちました。会員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。高齢化が進む中、地域住民が安心して、望む場所で生きていけるように支援できるには、看護職の力はとても大切だと感じています。現在、協会員も年々増加していますが、さらに一人でも会員数を拡大し専門職としての

誇りと自覚をもち、さらに連携が図れ、お互いに補完し合い少しでも実践能力が高まっていけることを願っています。その中でも今年度は始良伊佐地区新人教育事業に力を注ぎ、礎となるものを築ければと思い頑張っって前進していきたいと思っております。これからも会員の皆様のご指導ご支援よろしくお願いたします。

■平成 26 年度 役員

役員	氏名	所属
地区長	松枝 文子	霧島市立医師会医療センター
第一副地区長	三島 真美	霧島市立医師会医療センター
第二副地区長	松尾 由弥	加治木温泉病院
書記	松田 伸一	霧島市立医師会医療センター
会計	猪俣 千代子	霧島市立医師会医療センター

教育委員 6名		
氏名	所	属
久徳 博子	国立病院機構南九州病院	
冨永 貴三子	加治木温泉病院	
山口 敬子	県立北薩病院	○
益園 愛子	寺田病院	
本田 多恵子	霧島杉安病院	○
三好 昭子	松下病院	

○新役員

地域ケアサービス委員 6名

氏名	所	属
山口 直美	ザ王病院	○
岩橋 伸子	始良市役所	○
敷根 富貴子	整形外科松元病院	○
藤田 浩美	寺田病院	
花牟 禮稔	霧島桜ヶ丘病院	○
有馬 広美	霧島市役所	

評議委員は、地域ケアサービス委員あるいは教育委員を兼ねる。

大隅地区



大隅地区地区長 前野かつ子

平成 26 年度の大隅地区理事に就任することになりました。大隅は地理的な不便さがありますが、心はとも自由で、やりたいことは何でもしようとするエネルギーに満ち溢れた人々がたくさんいます。この地で理事になることを楽しみにしています。

大隅の地区理事として、先日（平成 26 年 6 月 10 日～ 12 日）、名古屋で開催された平成 26 年度日本看護協会通常総会に出席してきました。全国で働く 145 万人の看護職の職能団体として誇り高い総会でした。日本の 65 歳以上の人口はすでに 3,000 万人を超え、病院を中心とした医療から生活の場である地域での暮らしと医療を支えることを一人一人が、真剣に考えていかなければならないことをひしひしと感じました。平成 26 年度の日本看護協会の重点政策・重点事業の第 1 項目が「長期療養の生活者を支える訪問看護事業等の機能強化」を挙げていることに、その決意が表れています。さらに、長期療養者ではなく、「長期療養の生活者」と表現していることにも驚きました。私たち看護職は、「人々の健康と幸福に貢献する」という普遍的の使命のもとに、ありとあらゆる場面で患者としてではなく「生活をしている一人の人間として」関わっていく必要があることを再認識しました。

一人の力はとても小さいですが、皆の力を合わせると何でも可能にできるのが看護職です。皆と自覚と覚悟をもって、これから立ち向かってくるであろう超高齢社会を逞しく乗り越えていきたいと思っています。ご協力、ご指導をどうぞよろしくお願い致します。

一人の力はとても小さいですが、皆の力を合わせると

評議員◎

■平成 26 年度 役員

役員	氏名	所属
地区長	前野 かつ子	池田病院
第一副地区長	伊比礼 まり子	肝属郡医師会立病院
第二副地区長	牧之瀬 小代子	曾於医師会立病院
会計	上ノ原 浩美	池田病院
書記	谷山 正子	池田病院

教育委員 8名

氏名	所属	
あべ松 美穂	池田病院（委員長）	◎
入田 三千代	大隅鹿屋病院	◎
近間 真由美	春陽会中央病院	
今原 めぐみ	肝属郡医師会立病院	
久徳 めぐみ	曾於医師会立病院	
松山 美鈴	ヴィラかのや	◎
徳永 たか子	徳田脳神経外科病院	◎
原 小百合	鹿屋医療センター	

地域ケアサービス委員 8名

氏名	所属	
川畑 真弓	鹿屋医療センター（委員長）	◎
田代 良一	垂水中央病院	◎
木村 きよ子	春陽会中央病院	
大田 千穂	大隅鹿屋病院	
米盛 沙織	昭南病院	
永野 富美子	鹿屋保健所	
加藤 理恵	おぐら病院	◎
谷川 仁美	星塚敬愛園	◎

大島地区



大島地区地区長 仁添 絹子

6 月 14 日、平成 26 年度の大島地区集会は、県看護協会の加治屋理事をお迎えして開催することが出来ました。他の研修会と日程が重なり、参加者が少ないのではと心配していましたが、皆様のご協力もあり、昨年とほぼ同数の参加者で集会を終えることができました。

集会後のリフレッシュ研修は「弦楽の調べ」で癒されたと大好評でした。今後も協会員の皆様に喜んでいただける研修を計画したいと思います。地区役員全員で今年度の事業計画が達成出来るように協会活動を楽しみながら頑張りたいと思います。

■平成 26 年度 役員

役員	氏名	所属
地区長	仁添 絹子	奄美病院
副地区長	永井 春乃	県立大島病院
副地区長	益田 祐子	奄美医療生協
書記	西田 和仁	奄美病院
会計	富地 幸代	奄美病院

■大島郡区ブロック代表

氏名	所属
栄 明美	宮上病院

評議員◎

地域ケアサービス委員 6名

氏名	所属	
濱田 靖乃	医師会病院	◎
押川 久子	奄美和光園	
栄 千代美	県立大島病院	◎
渡 秀峰	徳洲会病院	◎
坂井 まゆみ	奄美看護福祉専門学校	
六田 まゆみ	奄美中央病院	

教育委員 6名

氏名	所属	
盛山 リカ子	奄美中央病院	◎
栄 純	県立大島病院	◎
納 春美	奄美和光園	◎
森田 秀樹	医師会病院	
田中 奈美子	徳洲会病院	
戸内 直美	奄美病院	

◆第1回理事会

平成26年4月26日(土)13:30~17:00

17名出席

◆協議事項

1 管理的事項

- 1) 諸規則の制定及び改正関係
 - (1) 訪問看護ステーションかごしま運営規程の改正について
 - (2) 居宅介護支援事業所運営規程の改正について
 - (3) ワーク・ライフ・バランス推進・評価委員会設置要領の制定について
 - (4) 災害支援要領の制定について
- 2) 管理事項
 - (1) 平成25年度事業報告について
 - (2) 平成25年度決算について(監査報告含む)
 - (3) 総会要綱について
 - (4) 人事案件(訪問看護ステーション所長・居宅介護支援事業所所長)について
 - (5) 平成26年度保健師職能委員の選定について(前回理事会以降の内容)
 - (6) 臨地境界フェンスの支柱の取り換えについて
 - (7) 新たな財政支援制度にかかる事業等調書の提出について
 - (8) 総会時の役割分担等について

★報告事項

1 事業推進に関する事項

- 1) 業務執行理事の平成25年度事業報告
- 2) 県との災害協定の締結について

2 管理的事項

- 1) 看護業務功労者の決定について
- 2) 知事への要望に対する県からの回答について(看護連盟からの情報提供)
- 3) 叙勲について(口頭報告)
- 4) 本会のホームページの職能委員会の欄の対応について(口頭報告)
- 5) 平成26年度理事会・運営委員会の日程について
- 6) 議事録(理事会)

理事会 報告

3 その他

- (1) 職能委員会報告(口頭報告)
- (2) 地区報告(口頭報告)
- (3) 委員会報告(書面報告)
- (4) 地区理事会報告(口頭報告)
- (5) 他団体会議報告(書面報告)
- (6) 出張報告(県外)(書面報告)

◎ その他

- 1) 次回理事会について
- 2) 交替する役員へのお礼(旧役員)

◆第2回理事会

平成26年5月24日(土)15:40~17:30

17名出席

◆協議事項

- 1 役員を選定について
- 2 会長代行及び専務理事代行の優先順位について
- 3 新たな財政支援制度による基金への対応について

◎ その他

- 1 提出書類について
- 2 年間計画について
- 3 次回理事会について
- 4 地区長情報交換会について



平成26年度 継続・新規入会申込み受付中です。

★入会手続き後に、勤務先、住所、氏名などが変更した場合は、速やかに「会員異動・変更届」を提出してください。変更が行われない場合、確実に郵送物がお手元に届きません。変更届様式は当協会ホームページ(<http://k-kango.jp>)よりダウンロードできます。必要事項を記入し、FAX、メールまたは郵送にてお送りください。

★平成26年度、すでに他都道府県看護協会にて入会后、鹿児島県に異動された方は、当該年度のみ鹿児島県看護協会費が免除となりますので、当協会に確認後、転入手続きをお願いします。

★入会申込書の送付依頼、入会・異動手続き、入会履歴等、ご不明な点はお問い合わせください。

TEL 099-256-8081 FAX 099-256-8079 e-mail : kakankyo@orange.ocn.ne.jp

編集後記

平成26年度もスタートし、私たち委員会も新・旧メンバーの入れ替わりの時期になりました。新コーナーもできて、メンバー一同もフレッシュな気持ちで頑張ります。

メンバー一同



看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう

公益社団法人 鹿児島県看護協会

鹿児島市鴨池新町21-5

TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079

URL <http://k-kango.jp>

E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp